

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月6日
【四半期会計期間】	第47期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ソフトクリエイイトホールディングス
【英訳名】	SOFTCREATE HOLDINGS CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 林 勝
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号
【電話番号】	03-3486-0606(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理IR部長 佐藤 淳
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号
【電話番号】	03-3486-0606(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理IR部長 佐藤 淳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期 連結累計期間	第47期 第2四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	4,796,651	5,354,858	10,048,605
経常利益 (千円)	588,194	634,277	1,252,971
四半期(当期)純利益 (千円)	315,871	291,939	645,305
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	316,080	262,725	711,844
純資産額 (千円)	4,977,735	5,813,604	5,310,344
総資産額 (千円)	7,165,615	8,000,012	7,719,055
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	24.84	21.84	50.66
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	24.43	20.66	49.36
自己資本比率 (%)	67.6	70.5	66.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	423,220	500,737	839,099
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,320,508	205,423	301,182
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	78,165	226,686	150,798
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	3,167,101	3,135,125	2,618,655

回次	第46期 第2四半期 連結会計期間	第47期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	13.60	14.25

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用関連会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な連結子会社及び持分法適用関連会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用関連会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アメリカの財政状況や中国経済の減速懸念など海外景気の一部に懸念はあるものの、安倍政権が掲げる経済政策「アベノミクス」への期待を背景にした株高・円安傾向が加速し、個人消費の着実な持ち直しや企業の設備投資に改善の兆しが現れるなど、景気は回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するIT業界は、EC市場の拡大を背景としたECサイト構築需要の拡大やスマートフォン・タブレット端末の急激な普及、2014年4月に控えたWindows X PのOSサポート終了に伴うパソコンの買替え需要の拡大など、企業のIT投資は順調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループはECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」を活用したECサイト構築ビジネスの拡大に注力したことに加え、リスティング広告・SEO対策等のプロモーションサービスの拡大に注力し、デジタルマーケティング分野でのビジネス領域の拡大を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は53億54百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は6億13百万円（同8.2%増）、経常利益は6億34百万円（同7.8%増）となったものの、データセンタービジネスの更なる強化に向けた移転費用が上期に発生したことにより、四半期純利益は2億91百万円（同7.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ECソリューション事業

ECソリューション事業は、ECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」を活用したECサイト構築売上が順調に伸長したことや、リスティング広告・SEO対策等のプロモーションサービス売上高の伸長により、売上高は23億88百万円（前年同期比7.7%増）となったものの、セグメント利益は、知名度向上のための広告宣伝費の増加及び積極的な中途採用による人件費の増加により、5億36百万円（同15.7%減）となりました。

システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業は、ウェブフォーム・ワークフロー「AgileWorks」のプロダクト売上高の伸長により、売上高は11億21百万円（前年同期比11.2%増）、セグメント利益は3億69百万円（同27.9%増）となりました。

物品販売事業

物品販売事業は、2014年4月に控えたWindows X PのOSサポート終了に伴うパソコンの買替え需要の拡大により、売上高は18億44百万円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益は67百万円（同190.7%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、5億円（前年同期は4億23百万円の獲得）となりました。これは、主に法人税等の支払が3億13百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が5億19百万円、減価償却費が1億35百万円、売上債権が1億17百万円減少したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、2億5百万円（前年同期は13億20百万円の獲得）となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入が4億8百万円あったものの、投資有価証券の取得による支出が3億4百万円、無形固定資産の取得による支出が1億62百万円、データセンターの移転に伴う支出が1億14百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果獲得した資金は、2億26百万円（前年同期は78百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払が1億18百万円あったものの、第三者割当による自己株式の処分による収入が3億16百万円あったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについての重要な変更はありません。

(6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資産の変動について

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は80億円となり、前連結会計年度末に比べ2億80百万円の増加となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が1億23百万円減少したものの、現金及び預金が3億6百万円増加したこと等によるものであります。

負債の変動について

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は21億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億22百万円の減少となりました。これは、主に未払法人税等が1億17百万円、買掛金が57百万円、賞与引当金が14百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の変動について

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は58億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が1億85百万円増加、第三者割当による自己株式の処分の実施等により資本剰余金が1億2百万円増加及び自己株式が2億41百万円減少したこと等によるものであります。

(7) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営者の問題認識と今後の方針についての重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	51,000,000
計	51,000,000

(注)平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年11月6日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	13,775,139	13,775,139	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	13,775,139	13,775,139		

(注)1 提出日現在の発行数には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

2 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日 (注1)	9,118,626	13,677,939		848,853		879,094
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日 (注2)	97,200	13,775,139	5,248	854,101	5,248	884,343

(注)1 株式分割(1:3)によるものであります。

2 資本金及び資本準備金の増加は、新株予約権の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
有限会社ティーオーシステム	東京都渋谷区渋谷2-15-1	3,753,970	27.25
日本ユニシス株式会社	東京都江東区豊洲1-1-1	654,000	4.74
株式会社オービックビジネスコンサル タント	東京都新宿区西新宿6-8-1	645,900	4.68
林 宗治	東京都渋谷区	410,214	2.97
林 雅也	東京都渋谷区	410,165	2.97
林 勝	東京都渋谷区	410,160	2.97
日本スタートラスト信託銀行株式会 社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	340,200	2.46
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (常任代理人株式会社三菱東京UFJ 銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 (東京都千代田区丸の内2-7-1)	331,500	2.40
ソフトクリエイイトホールディングス 従業員持株会	東京都渋谷区渋谷2-15-1	198,330	1.43
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 (常任代理人株式会社みずほ銀行)	P. O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A (東京都中央区月島4-16-13)	150,000	1.08
計		7,304,439	53.01

- (注) 1 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
2 株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下第3位を切り捨てしております。
3 自己株式126,192株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合0.91%)を保有しております。
4 上記日本スタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数340,200株は信託業務に係る株式であります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 126,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,646,100	136,461	
単元未満株式	普通株式 2,939		
発行済株式総数	13,775,139		
総株主の議決権		136,461	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式92株が含まれております。

2 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソフトクリエイト ホールディングス	東京都渋谷区渋谷2-15-1	126,100		126,100	0.91
計		126,100		126,100	0.91

(注) 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,617,513	2,924,065
受取手形及び売掛金	1,884,513	1,760,826
電子記録債権	-	6,463
有価証券	1,141	13,648
商品	155,210	107,223
未成業務支出金	99,858	154,068
その他	322,597	485,087
貸倒引当金	524	813
流動資産合計	5,080,311	5,450,570
固定資産		
有形固定資産	315,173	285,109
無形固定資産	410,276	417,369
投資その他の資産		
投資有価証券	1,539,440	1,442,108
その他	385,711	417,342
貸倒引当金	11,857	12,486
投資その他の資産合計	1,913,294	1,846,963
固定資産合計	2,638,744	2,549,442
資産合計	7,719,055	8,000,012
負債の部		
流動負債		
買掛金	954,425	897,227
未払法人税等	293,835	176,224
賞与引当金	236,569	222,215
工事損失引当金	33	800
その他	621,458	604,917
流動負債合計	2,106,321	1,901,385
固定負債		
退職給付引当金	134,104	141,529
役員退職慰労引当金	155,554	143,493
その他	12,731	-
固定負債合計	302,390	285,022
負債合計	2,408,711	2,186,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	848,707	854,101
資本剰余金	905,532	1,008,179
利益剰余金	3,636,281	3,821,355
自己株式	283,599	42,041
株主資本合計	5,106,921	5,641,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,485	967
その他の包括利益累計額合計	42,485	967
新株予約権	23,321	32,923
少数株主持分	137,615	138,118

純資産合計	5,310,344	5,813,604
負債純資産合計	7,719,055	8,000,012

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,796,651	5,354,858
売上原価	3,268,019	3,685,602
売上総利益	1,528,632	1,669,255
販売費及び一般管理費	¹ 961,867	¹ 1,056,179
営業利益	566,765	613,076
営業外収益		
受取利息	4,140	12,535
受取配当金	278	6,921
受取手数料	2,189	-
為替差益	13,343	-
その他	2,213	9,394
営業外収益合計	22,165	28,852
営業外費用		
為替差損	-	5,406
持分法による投資損失	735	-
その他	-	2,244
営業外費用合計	735	7,650
経常利益	588,194	634,277
特別利益		
投資有価証券売却益	148	68,674
新株予約権戻入益	94	-
特別利益合計	242	68,674
特別損失		
投資有価証券評価損	2,103	-
固定資産除却損	16,257	55,541
会員権評価損	11,821	-
事務所移転費用	19,416	128,267
その他	-	59
特別損失合計	49,598	183,868
税金等調整前四半期純利益	538,838	519,083
法人税、住民税及び事業税	221,072	195,790
法人税等調整額	2,049	19,050
法人税等合計	219,023	214,840
少数株主損益調整前四半期純利益	319,815	304,242
少数株主利益	3,944	12,302
四半期純利益	315,871	291,939

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	319,815	304,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,735	41,517
その他の包括利益合計	3,735	41,517
四半期包括利益	316,080	262,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,136	250,422
少数株主に係る四半期包括利益	3,944	12,302

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	538,838	519,083
減価償却費	127,052	135,661
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,394	918
賞与引当金の増減額(は減少)	15,174	14,354
工事損失引当金の増減額(は減少)	4,558	766
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,767	7,424
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,200	12,060
受取利息及び受取配当金	4,419	19,457
株式報酬費用	-	14,057
固定資産除却損	16,257	55,541
投資有価証券売却損益(は益)	148	68,674
投資有価証券評価損益(は益)	2,103	-
為替差損益(は益)	13,735	5,530
会員権売却損益(は益)	-	59
会員権評価損	11,821	-
持分法による投資損益(は益)	735	3,650
新株予約権戻入益	94	-
売上債権の増減額(は増加)	45,374	117,223
たな卸資産の増減額(は増加)	82,224	6,222
仕入債務の増減額(は減少)	108,889	58,997
前受金の増減額(は減少)	31,139	19,716
未払金の増減額(は減少)	49,351	9,721
破産更生債権等の増減額(は増加)	-	629
その他	27,105	98,731
小計	606,295	800,388
利息及び配当金の受取額	5,347	13,973
法人税等の支払額	188,422	313,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	423,220	500,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	300,000	-
定期預金の払戻による収入	2,050,000	-
有形固定資産の取得による支出	20,086	7,433
無形固定資産の取得による支出	161,973	162,354
投資有価証券の取得による支出	45,480	304,852
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	45,628	408,774
会員権の取得による支出	-	25,000
会員権の売却による収入	-	190
事務所移転による支出	19,416	114,732
貸付けによる支出	400	1,400
貸付金の回収による収入	1,506	1,186
敷金及び保証金の差入による支出	235,784	10
敷金の回収による収入	6,514	-
その他	-	209
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,320,508	205,423

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,453	10,788
自己株式の売却による収入	-	316,100
ストックオプションの行使による収入	4,921	18,256
配当金の支払額	84,540	106,658
少数株主への配当金の支払額	-	11,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,165	226,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,735	5,530
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,679,298	516,469
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,802	2,618,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 3,167,101	¹ 3,135,125

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、当該企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
給与手当	383,766千円	407,299千円
賞与	88,272	82,887
役員退職慰労引当金繰入額	14,050	14,666
退職給付費用	27,167	29,981
貸倒引当金繰入額		918

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
現金及び預金	2,653,316千円	2,924,065千円
預入期間が 3 か月超の定期預金	300,000	
流動資産その他(預け金)	199,165	197,411
有価証券(M M F)	614,618	13,648
現金及び現金同等物	3,167,101	3,135,125

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月9日 取締役会	普通株式	84,724	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月1日 取締役会	普通株式	84,890	20.00	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月9日 取締役会	普通株式	106,866	25.00	平成25年3月31日	平成25年6月7日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月1日 取締役会	普通株式	116,016	8.50	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

(注)平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

3 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年5月1日開催の取締役会において、日本ユニシス株式会社を引受先とした第三者割当による自己株式の処分を実施することを決議し、平成25年5月17日に払込を受けております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が102,647千円増加、自己株式が241,558千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,008,179千円、自己株式が42,041千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ECソリューション事業	システムインテグレーション事業	物品販売事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,217,659	1,008,756	1,570,236	4,796,651		4,796,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,623	4,800	1,492	9,915	9,915	
計	2,221,282	1,013,556	1,571,728	4,806,567	9,915	4,796,651
セグメント利益	636,323	289,020	23,049	948,393	360,198	588,194

(注)1 セグメント利益の調整額 360,198千円は、セグメント間取引15,600千円、その他調整額22,805千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 398,603千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ECソリューション事業	システムインテグレーション事業	物品販売事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,388,225	1,121,777	1,844,855	5,354,858		5,354,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,377	17,589	55,804	77,771	77,771	
計	2,392,603	1,139,366	1,900,660	5,432,629	77,771	5,354,858
セグメント利益	536,272	369,677	67,010	972,960	338,682	634,277

(注)1 セグメント利益の調整額 338,682千円は、セグメント間取引75,914千円、その他調整額 37,205千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 377,391千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	24円84銭	21円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	315,871	291,939
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	315,871	291,939
普通株式の期中平均株式数(株)	12,717,788	13,366,320
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	24円43銭	20円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	212,098	764,861
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まなかった潜在株式について、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第47期(平成25年4月1日から平成26年3月31日)中間配当については、平成25年11月1日開催の取締役会において、平成25年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	116,016千円
1株当たりの金額	8円50銭
支払請求権の効力発生日又は支払開始日	平成25年12月3日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

株式会社ソフトクリエイトホールディングス

取締役会御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂 田 純 孝

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 日 高 真 理 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソフトクリエイトホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソフトクリエイトホールディングス及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。